

[19] ラティス・テクノロジー株式会社

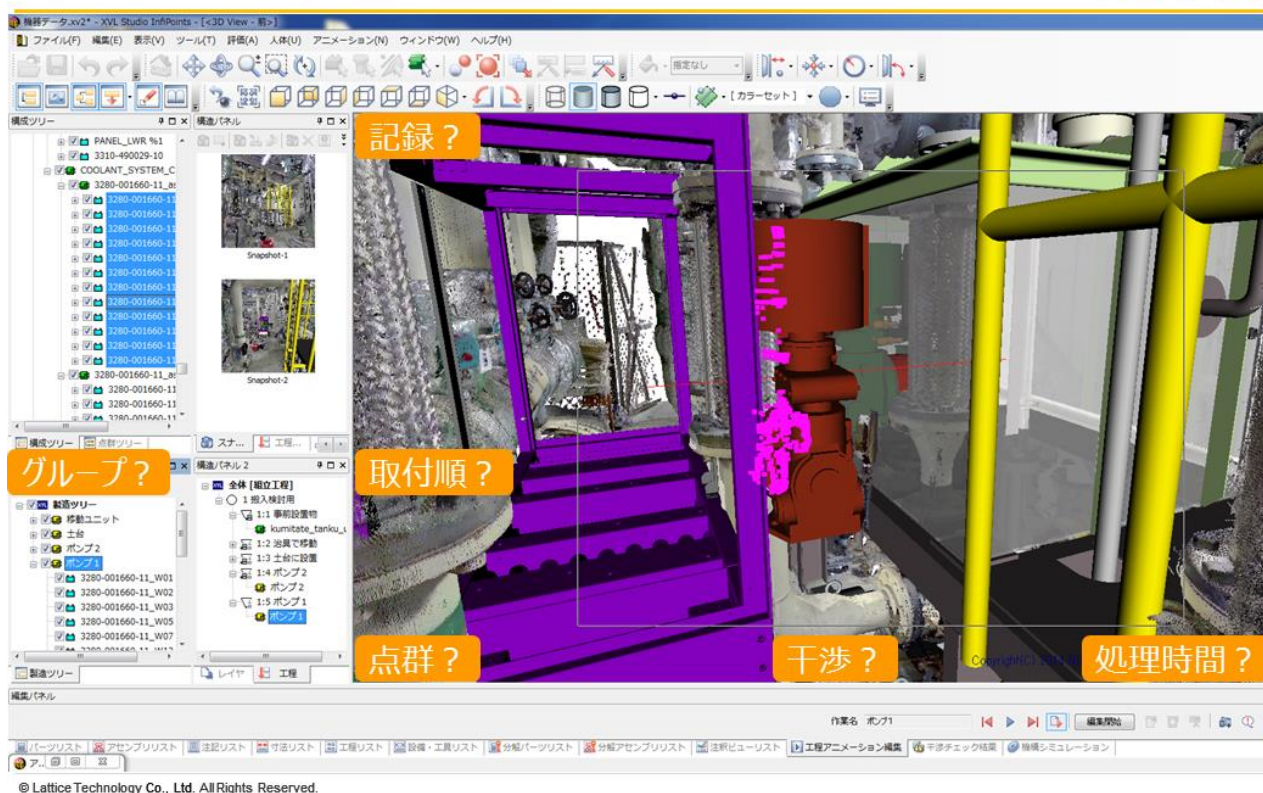
大容量の 3D モデルと大容量点群データを統合する DMU ソリューション
「XVL InfiPoints」を出展します。



ラティス・テクノロジーの開発した軽量 3D フォーマット「XVL」は、3D CAD データを 1/100 以下に軽量化する技術です。超大容量 3D データを軽快に扱うことができるので、自動車や造船、航空、産業機器など、ものづくり情報を全社で共有し活用する技術として、多くの企業で導入されています。

「XVL InfiPoints」とは、軽量 3D の「XVL」と、株式会社エリジオン（本社：静岡県浜松市）の開発した、現物を計測した大容量点群データを軽快に処理する技術「InfiPoints」の融合により、大容量 3D データの XVL と大容量点群データを統合・検証する、仮想（バーチャル）と現実（リアル）のハイブリッド DMU（デジタルモックアップ）ソリューションとして誕生しました。

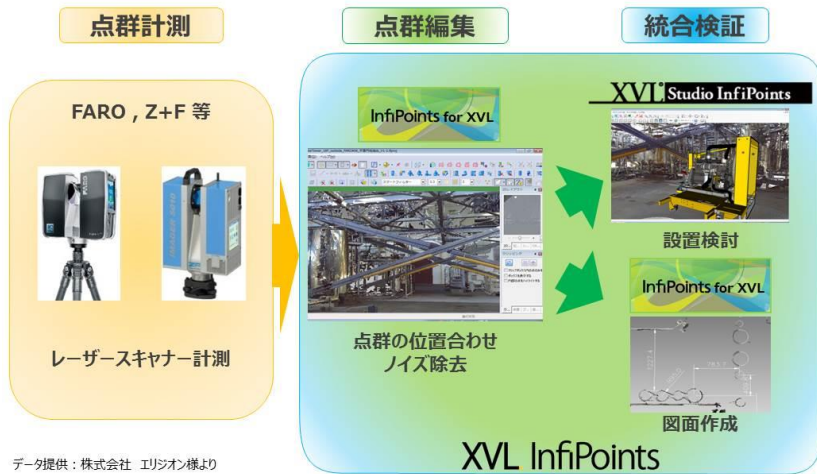
治具を含めた搬入検討イメージ



◆XVL InfiPoints で得られる価値

- 機器メーカー様の場合:自社の機器をゼネコン様・サブコン様にアピールできる
⇒ 設置工程の見える化 ・ メンテナンス性の向上 ・ ビジュアルに説明できる
- 工場設備部門様の場合：度重なる工場ライン検討を迅速に対応することができる
⇒ 工場の細部までデジタル化 ・ 仮設・治具のコストの見える化 ・ 現場合わせを無くす

XVL InfiPoints の体系



データ提供：株式会社 エリゾン様より

© Lattice Technology Co., Ltd. All Rights Reserved.

XVL InfiPoints

XVL InfiPoints とは、株式会社エリゾン様の「InfiPoints」と弊社の「XVL Studio InfiPoints」の2つのソフトのパッケージ製品です

点群準備：点群を準備するフロー

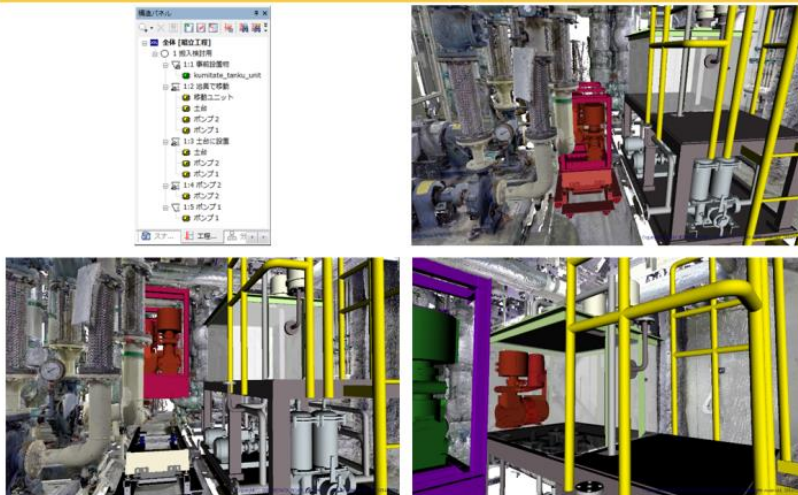


点群データを扱う際に最初に行う処理は、3Dレーザースキャナで計測した複数のファイルを読み込み、一つの点群データとして扱えるようにする**位置合わせ**です
また**不要な点（ノイズ）の除去**も行うことで、その後の作業効率と精度が上がります
なお、こうした工程をここでは「**データ前処理**」と呼びます



© Lattice Technology Co., Ltd. All Rights Reserved.

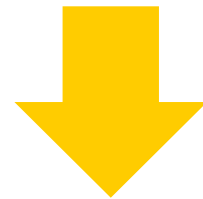
点群+3D活用：取付順序を時系列で表現できる



© Lattice Technology Co., Ltd. All Rights Reserved.

InfiPoints for XVL

点群準備



XVL Studio InfiPoints

点群+3D で統合検証